

## なんちゃって農業女子(笑)

No.18

ご無沙汰しました。今回のお話は……

季節柄、ハロウィン用のかぼちゃの話。

私の職場（京田辺のぷちぼんとファーム）では、今年もたくさんのかぼちゃを放任栽培して、100個ほど成育させて、ハロウィン用のかぼちゃとして出荷しています。食べることができない訳ではありませんが、このかぼちゃ達は、甘みも少なく果肉も少ないので煮物や天ぷらなどの調理には不向きです。ただ、ハロウィンまでは「飾り」として使って、その後は皮を剥いて種も取って果肉だけをしっかりと潰して「ポタージュスープ」などに加工して食べることは可能です。

最近、イベント的に巨大かぼちゃをハロウィン用に栽培している農家さんも増えてきました。大きさを競うような場面もありますよね。私の職場のかぼちゃの中にも「巨大」なものもありましたよ。写真が無いのが残念ですが、50キロくらいあって、一人で抱えるには重すぎました。(笑)

今年は夏場の天候が、例年以上に暑かったことが良かったのか、誰も近寄らない場所に植えて放任していたことが良かったか、かぼちゃ達は実にすくす



くと農地いっぱい伸び伸びと広がりたくさん実をつけ、りっぱに育ってくれました。ただし、この夏の暑さは、他の夏野菜（路地物）に大変過酷だったようで、トマトやきゅうりや茄子は、早々と枯れていきました。野菜も熱中症ぎみでした。

今、職場の畑では、さつまいもが育っていますが、これも夏の暑さで苗が焼かれて例年よりも少し成育が鈍い気がします。暑すぎても寒すぎても、野菜達には過酷ですよ。心地よい季節が、年々短くなっている気がするのは私だけでしょうか？

我が家の畑では現在「ハヤトウリ」が去年同様茂りまくっています。さて今年は、何個実をつけることが出来るのでしょうか(笑)この報告は来月以降のお楽しみ……ということで、今回はこれにて終了。

(文・写真 へそくん)



- ✎ なんちゃって農業女子(笑) 18
- ✎ 言いたい放題! アッキー28号(55) 一緒にいる、仲間として
- ✎ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介  
スポーツの秋! を満喫する! スポーツマンが特集!
- ✎ 同志募集!! 奥能登福祉農園(4)
- ✎ うたかた話(25) 古文(随筆)関係(2)
- ✎ 文科省通知で、支援教育が変わろうとしている……。
- ✎ 原発賠償関西訴訟第35回期日の報告
- ✎ イベント紹介/会計報告

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



私の住む、大阪府枚方市では、「共に学び共に育つ」という理念のもと、障害を持つ子ども地域の小中学校で「ふつうの子」と共に学んできた、そんな歴史がある。

たまたま私は自閉症という障害を持つ子を授かり、就学時には「地域の学校はこのひとは無理」と周囲の皆から言われ、自分自身もそう思ったため、養護学校(当時)小学部に入学させた。ところが、留守家庭児童会室(学童保育)で保育所から一緒だった子どもたちと共に放課後の時間を過ごすなかで、言葉の殆どない息子が社会性を身につけていくのを見て、「集団の力」というものを実感した。そして私たちの背中を押してくれる人もいて、4年生で息子は地域の小学校に転校。それ以降中学、高校と、「ふつうの子」と一緒に地域の学校に通った息子は、彼なりに有意義な学びをしたようである。さて、私自身は1歳9か月の時から枚方で育ってきたのだが、障害を持つ子がクラスにいたかと問われると、「そういう運動が進められる直前の世代だったからねえ。いなかったよ」と答えていた。ところが数年前、ふと、あれ?と思い出した。

そうだ、中学1年で同じクラスだったT子さん。今思うと、彼女は脳性まひという障害を持っていたのではないか。

最初のホームルームで担任の先生が「T子さんのことは、M子さん、同じ小学校だったから、みてあげてくれるね」と言い、小柄なM子さんが「はい」と大きなまっすぐな目で答えていたのを覚えている。

T子さんは、色白で、ショートカット。当時よくあった「リンクの縁の眼鏡をかけて、薄いお

言いたい放題! アッキー28号 (55)

一緒にいる、仲間として

かっぱの髪を、額の横でヘアピンでとめていた。平均的な背丈で、やせていて、お話は、ちよつと顔をしかめて、「あーあー」と言うだけ。はかなげな笑みをいつも浮かべていたのが印象に残っている。

男の子たちは時々「T」の二音を変えて排泄の下ネタ言葉にして、はやしたてた。女生徒は「またやってる」と男子を見て、眉をひそめる。T子は困ったような笑顔をしていた。

T子のこと覚えてるのはそれくらいだ。勉強はどういう風にしていたのか。体育はどうしていたのか。M子はどんな風にT子にかかわっていたのか。全く覚えていない。けがや事故など大きなトラブルはなかったと思う。とにかくT子は、私たちと一緒にいた。

「障害を持つ子がクラスにいたか」と問われた時に、T子のことを思い出さなかったのは不思議だ。

私にとって、T子はT子。1年〇組の同級生で、学年の色である赤いネクタイのセーラー服を着て、同じ教室にいた。

そういえばT子は障害を持っていた。いつも薄い笑顔で、清潔で、いい子だったな。ご両親に大切にされていたのだな。今振り返るとそんなことも思う。

「クラスにいる障害児」といえば、ちよつと変わった立ち位置から見たことがある。

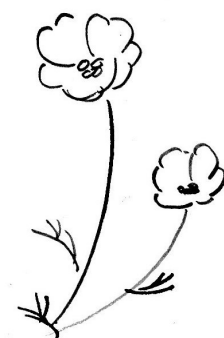
10年以上前だが、保育サポーターの養成講座を受けたなかで、最後に保育所での約2時間の実習があった。子どもたちの通った保育所で実習させてもらったなら、息子の担任を持つてくれたB子先生のクラスでの実習となり、

懐かしい3歳児M組で十数人の子どもたちと2時間を過ごした。障害児保育にも力を入れて

いるところで、M組にも聴覚などに障害を持つA子ちゃんがいた。保育所の子どもたちは人懐っこい。「与しやすい」と見られたか、「アッキーせんせい」と何人かの子らが背中に寄って来て、「鈴なり」状態。「これこれ」とB子先生に制せられ、設定保育で工作が始まった。

大きな低いテーブルの周りに皆が座り、手を動かす。テーブルの向こうの角にA子ちゃんが座っている。手は動かしているのかしら。子どもたちはA子ちゃんは無視して工作しながらおしゃべり。A子ちゃんの頭上をおしゃべりの言葉が行き交い、時に冷たい眼差しも降ってくる。ところがA子ちゃんが助けを必要とするような場面になると、さつと子どもたちの誰かが動く。当たり前のように必要な手助けをする。

一緒にいるって、こういうことか。そんなことを強く感じる、2時間だった。



(著者プロフィール) パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。放課後クラブ『チャレンジ・キッズ』代表  
<https://ameblo.jp/challengekids81573/>

STEMz マンガ文庫 蔵書紹介  
**スポーツの秋！を満喫する！ スポーツマンガ特集！**

真夏のような蒸し暑さに、台風🌀。夏の名残を感じつつ、秋の訪れを心待ちにしている方も多いのではないのでしょうか。

社会人をしてると、スポーツの日は、祝日でしかないかもしれませんね。去年はオリンピックに湧いて、日本中がスポーツネタはおなかいっぱいなのか、今年はどこかスポーツの話題が少ないように思います。

マンガ文庫の紹介タイトルも50を超えたんですが、スポーツ特集はしてなかったんで、この機に紹介します！

**夕凧に舞え、僕のリボン**

著：黒川裕美 既刊：上下巻 蔵書：上下巻



1984年、広島県の港町を舞台に、母親の病死から立ち直れない内気な少年・凧太郎は、新体操に出会う。その美しさに衝撃を受け、新体操を始めたが、昔気質の父・修は強く――。

夢を追いかける少年の成長と、家族の絆を描く感動作。

女子のみに許された手具を使った新体操を田舎の小学校でたった一人、果敢にチャレンジする凧太郎。競技として認められず、試合にも出れなかったとしても、認めて応援してくれる人に支えられて頑張れる。不遇な境遇をもちもせず、頑張っている人を応援したくなる作品です。

**ライジングインパクト**

著：鈴木央 既刊：17巻 蔵書：17巻



福島生まれのガウエイン・七海(ななみ)は将来はプロ野球のホームラン王を目指す小学生が、ゴルフに出会い、とんでもない飛距離のあるドライバーを武器にし、ゴルフ界に席卷する七海。

ゴルフを通して出会うライバル達との勝負や、友情を描くスポーツマンガです。

アニメ化、映画化を果たした大人気作、『七つの大罪』の作者、鈴木央さんの、過去作品です。トンデモ設定に、ゴルフを少しでもやったことがある人からすると、「ありえな〜い、やっぱジャンプマンガだ!」と思う方もいるでしょう。

リアリティを求めず、飛び出す必殺技をスパイスに、ストーリーの面白さだけを追うには、楽しくワクワクしながら読める作品です。

**Harlem Beat**

著：西山優里子 既刊：29巻 蔵書：29巻



小学校はリトルリーグの万年補欠。中学ではサッカー一部でやっぱ補欠。大会はいつも応援席で、試合の主役に拍手を送る役だった成瀬徹が、ストリートバスケットのかっこよさに魅了され、バスケットにのめり込んでいく作品です。

どんなスポーツも試合でカッコよくプレーできるまでにどれだけの努力が必要なのか考えるとゾッとします。チームプレーと自己のポジションの役割を理解して最高のプレーをする。熱いストーリー展開に心が沸き立つ、バスケマンガらしい作品です。

(みんなでつくる学童STEMs そふえ)  
 [STEMz マンガ文庫]で検索!

## 同志募集 !! 奥能登福祉農園（４） タイムトンネルの向こうの異空間

私は、小・中・高校時代から21歳まで、枚方市に住み、枚方市で育ちました。結婚後金沢に26年住んでいました。現在、奥能登・輪島市の山村にある主人の実家・ポツンと一軒家に住んでいます。

金沢は、人口が枚方市と同じくらいですが、面積は7倍。緑豊かな自然に恵まれた都市だと思っていました。

ところが、輪島のポツンと一軒家に住むようになって、気がつきました。『金沢の緑は、人工的な植栽であって、あれは、ぜんぜん大自然じゃない!!!』

まず、雑草が違うのです。大自然は、植物の種類が格段に多いのです。桁違いにいろんな種類の植物が、ひしめき合っているのです。それも、夏には、ものすごい勢いで伸びていきます。虫たちも、然り。短時間に何十種類もの昆虫たちに出逢います。

（土の中の微生物も、空中を漂う微生物も、その種類、そして数が、天然の世界では、桁違いに多いそうです）

鳥も動物たちも、いろんな野生の生き物がいます。

まず、台所には、胸がキューーンとなるような可愛いカヤネズミが、走っています。天井裏には、ドタドタと音を立てて、カヤネズミを追いかけるイタチがいます。

それから、カヤネズミは、キツネの食糧でもあり、ヘビさんの食糧でもあります。

春先には時折、キツネの赤ちゃん、たぬきの赤ちゃん、野ウサギの赤ちゃんなどが、姿を現します。

野生のキツネの赤ちゃんが一歳になるまでの生存率は、15%以下だと推定されています。天



敵は、たくさんいます。この辺では、猫もなかなか野生的で強いものが普通にいて、猫も赤ちゃんの天敵になります。カラスも、赤ちゃんを狙います。イタチは肉食なので、当然です。山奥に住んでいると、生きることの厳しさを野生動物から、教えられます。



大きくなったキツネは、今度は、キツネが野ウサギを食べます。イノシシは、大きな動物ですが、生まれてまもない頃は、キツネの食糧になっていると猟師さんが、教えてくれました。

イノシシのメスは、一年に1~2回、4~5頭ずつ出産します。人間以外の天敵はいないので、三年で10倍の頭数になり、田んぼのお米も畑の作物も、一晩で全滅というスピードで、食い尽くし、めっちゃめっちゃにしまいます。

イノシシの子たちは、本当に可愛らしくて、無邪気にみんなで子供らしく遊んでいます。でも、猟師さんは、オリワナで捕獲しないわけにはいきません。これ以上は書きません。

猟師さんというのは、ほとんどが、田んぼや畑で長く耕作してきた人で、(私が出会った限りにおいては、) 人一倍優しく、とてもとても親切で、面倒見の良い人ばかりでした。

文/ 鴻 章子 (旧姓 広瀬)

連絡先 bishagoakiko@gmail.com



前回は「発心集」、「無名抄」の概略について書きましたが、今回はそれぞれの中身について書いてみたいと思います。

「無名抄」、「発心集」の二冊とも「角川ソフィア文庫」より現代語に訳された物が発行されていますので、それを読まれますと我々としては非常に良く判ります。

勿論二冊の訳者は異なりますが、それぞれ責任有る訳者ですので安心して読めると思います。

「無名抄」は久保田淳氏で、「発心集」は伊東玉美氏、浅見和彦氏の二方です。「無名抄」は一冊ですが、「発心集」は二冊になっています。

此れ等の本を中心に書いてみたいと思います。

まずは「無名抄」ですが、彼が師事した源俊頼の歌論集「俊頼髓脳」から多く取られて

います。これは彼が著した歌論集だと思えば非常に解り易いと思います。この文章の始めに彼は常に持っていないければならない事を書いて居ります。それは「その時の題を良く理解していなければならぬ」と言う事です。

此の本には例を挙げて書いていますがそれは「暁天落花、雲間郭公、海上明月」此れ等の第二番目の文字は敢えて読まなくても意味が通じます。此れ等は習わなくても判る事であり、源俊頼の歌学書「俊頼髓脳」(歌学書)にも書かれています。

二つ目は続け柄に善悪があると云う事です。この項は紀友則のうたを例にとって話が綴られています。

“夕されば佐保の河原の夕霧に友まどわせる千鳥鳴くなり。”

と云う歌です。是は優しく聞こえますが、同じ古今集に彼は、

“恋しきにわびて魂まどひなば虚しきからのなにやのこらん。”

などは前後の文章でその意味が変わってきます。その次はあながちと云う言葉です。

この様に同じ言葉でも前後の意味でその頭わさんとしている事が違ってきます。

この第二ではそう言う事が云いたかったのでは無いかと思えます。

この様に第二では多くの例を挙げて使用されている言葉の数々をどの様な意味で使われているのかが言いたかったのでは無いでしょうか。使われ方でその文章を左右するということが言いたかったのでは無いでしょうか。「無名抄」では使われている言葉で、強く表現したり弱く著したり、その時の使い方と云うよりも、その次にくる言葉により意味も変わってくると言う事が云いたかったのでは無

いでしょうか。うたにはその様に弱く言い表したり強く言い表したりする事があります、第二ではそれが言いたかったのでは無いでしょうか。

「無名抄」ではその次に有名な歌人の家が何処にあったとか、墓が何処にあるとか、うたに関する事のいわれなどを八十三項目について彼は書いておられます。歌に関する事柄で大切な事だと思えます。最後の八十三項目は“とこね”と云う言葉です、これは床で眠っていても、ウグイスの声は聞こえるし、その意味ではこの言葉は表現としてあまり良い言葉では無いと言われています。従ってあまり使わない方が良いと言われています。

この様に“うた”という物は一つの言葉で意味が大きく変わったり、歌合では負けになったりしておりますのでよくよく意味を考えて良い言葉を使わなければならないとなっております。此の本は色々歌について述べられていますので教科書として使われる事が多々あります。

次に彼の著した本は「発心集」ですが、これは二冊に分かれています。中身は説話集だと考えれば大きくは間違いません。上巻は序をいれて第五巻までで下巻は第六巻から第八巻までです。此の本には彼の基本的な作品「方丈記」の様な言葉が書かれています。それは

“仏の教え給える事あり 心の師とは成るとも、心を師とする事はなかれ”と言われる言葉です。

“真なるかな この言葉”と又その次に書かれています彼はこの言葉が真言の様に聞こえたのでしよう。

そこから始まって、色々な話が六十二話、下巻には四十一話が書かれています。これだけのお話しを集めるに相当の努力が有ったのでは無いかと思われれます。

西行の娘が出家した事から(第六の五番目のお話し)、有名な僧都が隠れて船頭をして見たり、それは色々なお話が多く盛られています。この現代文に訳した物を読むのも又面白い事だと思えます。そしてそれぞれが当時あったお話だと思えますと又興味がわいてくるのでは無いでしょうか。

そして彼が此れ等のお話しを一冊の本に纏めた努力は認めなければならないと思えます。彼は禰宜にも成られず非常に不遇だったと思えますが、此れ等の事を成し遂げた事は認められても良いのでは無いでしょうか。

今回は鴨長明の文章を中心に書いて見ましたが次回は又考えます。

今回もPCのウィキペディア及び角川ソフィア文庫の無名抄、発心集を利用させて頂きました。

「おしまい」  小田川徳男

## うたかた話(25)

# 古文(随筆)関係(2)

# 文科省通知で、支援教育が変わろうとしている……。 「共に学ぶ」教育はどうなるの？ ——当事者からの発言も

## ■ 支援教育が「分けられる」方向に変わっていく！

障害がある子も「共に学ぶ」教育の先進ともいえる大阪府。そのなかで枚方市では、「支援教育」という言葉を使い\*、支援学級在籍の児童は通常クラス（原学級）と支援学級の両方に学籍を置き（ダブルカウント）、1日1～2時間を支援学級の教室で学び、その他の時間は通常クラスで他の児童生徒と共に授業を受けています。

さて、『LIP』8月号でお伝えしたように、文部科学省から4月27日付で、支援学級の子どもについては、週の授業時間の半分以上を目安に支援学級で授業を行い、通常クラスでの授業は半分以下にするように、という通知が出されました。それを受けて市の支援教育が変わろうとしています。急な変更のお知らせと同時に、これから先支援学級か普通学級かと、選択を迫られる保護者と子どもたち。「子どものことを中心に考えて！」と保護者たちの運動も広がっています。

## ■ 普通学級を選択したい。でも、不安がある。

私たち「放課後クラブ『チャレンジ・キッズ』」（以下、「チャレンジ・キッズ」）は、これまで「共に学ぶ」教育のなかで学び育ててきた子どもの保護者として、自らの子らは成人したのですが、先輩母としてできることはないかと考えています。8月26日の定例会には、7月に開いた「緊急集会」でお話をしてくれた、小学生の子を持つお母さん2人が参加してくれました。

「原学級から半分の時間『取り出される』なら、人間としての成長を考え、勉強はできなくてもいいと考えている」というお母さん。ただ最近子どもにてんかんの発作が出るようになりました。発作の前には予兆が出るので、それを見てしゃがんだり寝かせたりしてもらえたらいいのだが、支援学級籍を外したらそんな配慮はしてもらえないのか？ 安全に学校生活を送りたいという願いに対して、「まず『困っているんです』と、学校に相談に行くのよ」と、「チャレンジ・キッズ」のアドバイザーである石打澄枝さんからのアドバイス。「『〇〇してください』と言われると、『無理』と学校は答える。『うちの不安を聞いてください。こういうことがあるんです。それをカバーできる方法を何か考えてください』と話をし、一緒に考えてもらう。最低一か月に一度は学校に話をしに行くようにして」「学校も何とか安全にみんなをまもりたいと考えているのだから、知恵を絞ってもらいましょう。1人だけの問題じゃない、同じ学校に同じような問題を抱えているお子さんもきっといる。情報を集め、つながって、みんなのために考えてもらいましょう」

## ■ 子どもたち、元・子どもたちの声は？

今回の問題を受けて、成人した自分の子に「昔どうだった？」と聞いてみたという、お母さんたちからの報告がありました。元当事者からの発言は次のようです。

・入り込みで週3～4時間「お助けの先生」が来てくれて安心だった。2年になる時も3年になる時もお母さんに「お助けの先生、お願いする？」と聞かれて、大丈夫かなあと思うけど、ちょっと不安でやっぱり来てもらった。4年になる時に高学年になるから、がんばらなあかんと思って、「お助けの先生はもういい」って言った。1年の2学期でお助けの先生が来てくれなくなったら、まじで困ったと思う。いきなり来てもらえなくなるのは酷い。(22歳)

・（全学年の支援学級の子が集まって行く）合科の時間がめっちゃ嫌やった。みんなと一緒に授業を受けたかった。中学校の合科の時間に大好きな先生の国語の時間があり、授業を受けられなくて、悲しかった。子どもたちの意見もちゃんと聞いてから、決めてほしい。何とかならないのかなあ。(21歳)

・しえんきゅうはいい人（←先生のこと）だけど、いい人だけではできないことがあります。みんなといっしょにいてとてもしろんなことがわかりました。それはじっかんです(28歳・発語がとぼしいので「筆談」で)

一方、小学校4年生のお子さんのお母さんから、「うちの子は『支援級がなかったら、俺は学校行けなくなっていたかもしれない』と言っています。支援級の友達も、普通級の友達も、共に大切な友達。そう思っているのは、障害の別なく受け入れてくれたから。なのに、今の状況が変わるのが残念でなりません。でも流れには抗えずに悶々としています」というお話も。

4月27日付けの文部科学省の通知については、9月9日国連の障害者権利委員会が障害児を分離した特別支援教育の中止を要請しています。それに対して、永岡桂子文科相は「特別支援教育を中止することは考えていない」と発表していますが、国の特別支援教育に関する施策、そして私たちの市の支援教育は、これからどうなっていくのでしょうか。

枚方市の支援教育についての取り決めなどは、逐次市役所のホームページにアップされているとのこと。引き続きこの問題について、私たちも考えていきます。次回の定例会は、10月14日（金）ラポールむらかた3階和室で、10時30分～12時30分（出入り自由）で行います。

（放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」 豊高明枝）

\*日本の学校教育において、障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加への主体的な取り組みを支援するための指導及び支援のことを「特別支援教育」と呼ぶが、枚方では、「特別」という言葉を使わず「支援教育」と呼んでいる。

=====  
LIPにて過去に連載した記事  
枚方の「共に学び共に育つ」教育は今、  
もぜひお読みください。 → → →  
↓↓↓ (LIP編集部)  
<https://love-dugong.net/lip/book/tomon1-8-all.pdf>



## ～「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判～ 原発賠償関西訴訟第 35 回期日の報告

9月15日(木)大阪地方裁判所で原発賠償関西訴訟第35回期日が開かれました。これは、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが、国と東京電力(以下、東電)に対し、事故の真相究明と責任の追及、損害の完全賠償、被災者全員への暮らしの支援を求める裁判です。



中之島図書館3階多目的スペース2で、リアルとオンラインで報告集会開催

これまで傍聴希望者は抽

選で選ばれて法廷に入っていましたが、今回は先着順となりました。午後1時過ぎに裁判所別館玄関前に集まった約40名の傍聴希望者は、原告・弁護団の入廷を見守った後、各々荷物検査を済ませて法廷へ。一方近くの会場で、法廷と同時刻に模擬法廷が開催され、その模様がZoomとYouTubeで配信されました。Zoom参加者は24名(運営側4名含む)、YouTubeライブ配信の視聴者は4名でした。

法廷では、原告から準備書面88「被告東京電力が行った個別原告準備書面への反論に対する再反論(総論)」が提出され、被告・東電からは共通準備書面34「本行意見書に基づく原告らの主張に対する反論」が提出されました。被告・国からの準備書面提出はなし。

原告側は準備書面88をパワーポイントでプレゼンを行い、東電側がこれまで行ってきた「当該地域の空間線量等は健康影響を生じさせない」「当該地域の大多数の住民が避難していない」「チェルノブイリとは事故の規模が異なる」等13の主張について、一つ一つ反駁の論証を加え、「被告・東電の各原告に対してなされた個別準備書面における主張は、原告の置かれている状況を全く理解せずになされたものであり、著しく原告を傷つけています」と述べ、「今後原告らは反論の準備書面を提出していき、それらに反論する予定です」と締め

くくりました。

続いて模擬法廷のオンライン配信を行った会場で、ハイブリッドの形(リアル+ZoomとYouTube配信)で報告集会が開催。法廷から会場へ傍聴者たちが移動する間の時間に、ZoomとYouTubeでは、弁護団から、午前中司法記者クラブで行われた記者レクの報告がありました。記者レクでは、6月17日最

高裁で、福島第一原発事故の被害者が提起した4訴訟に対して出された、「国が規制権限を行使しなかったことに対して国の責任を認めない」という判決について、原告団・弁護団・サポーターズから、共同の抗議声明を出したことを説明。国政権限不行使を理由として「国賠法上の責任を国は負わない」とした多数意見に対して抗議の意思を示すと共に、少数意見として付された三浦守裁判官の「長期評価を前提とする事態に即応し、保安院及び東電が法令の趣旨に従って真摯な検討を行ってれば適切な対応を取ることができ、本件事故を回避できた可能性が高い」として「国の責任を認めるべきである」という明快な論理を支持し、多数意見を覆す判断を勝ち取るまで市民と共に戦い抜くと宣言する、とした声明文を、視聴する人たちに説明しました。

傍聴者と原告団が集会会場に到着すると、7人の原告からの挨拶と報告に続き、京都訴訟や九州訴訟などの原告、サポーターが、会場から、またZoomの画面から、次々報告とアピール。「これから期日の間隔が密になっていきますが、応援どうぞよろしくお願いします!」との呼びかけに拍手で応えて、報告集会が終わりました。

原発賠償関西訴訟の次回第36回期日は、大阪地方裁判所で11月10日(木)午後2時開廷予定です。(文/豊高明枝 写真/矢部あづさ)

# イベント・サークル・ボランティア情報

**第20回チャリティーコンサート 「往生極楽ライブ」**  
 ◆日時：10月2日(日)午後2時~5時(1時30分開場)  
 ◆出演者  
 ・むらの高等支援学校(音楽)  
 ・久米素子、川原久美子(フルート、ギター)  
 ・畑中恵美子(紙芝居)  
 ・石本知己と仲間たち(ギター、歌)  
 ・村上由紀(歌)  
 ◆場所：浄土宗 光明寺  
 (京阪電車交野線・村裡駅より徒歩7分)  
 ◆入場料：無料 当日浄財箱を設置します。  
 全額「日本ユニセフ協会」に寄付させていただきます。  
 ◆主催：浄土宗 光明寺 問合せ 090-8161-9372(任職)

## 【枚方自閉症児(者)親の会】

「こんな学校なら行きたい」「もっと多面的に学校や社会のことを話したい」など、自由に話せる場に出たいと考えています。親の会は1966年に設立し今も続いている会です。発達障害全般、二次的に不登校、ひきこもりになっている人の保護者の方、祖父母の方、話したい方々、フリートークの場集まりませんか？  
 ◆日時：10月19日(水)10:00~12:00  
 11月16日(水)10:00~12:00  
 ◆場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム  
 ※連絡先 松崎 072-845-3014 さんなみ 072-868-9929

## 「大阪憲法ミュージカル2020 「憲法のレシピ」

★場所★ クレオ大阪中央ホール  
 ★公演日 2022年★  
 10月21日(金)昼の部 夜の部  
 10月22日(土)昼の部 夜の部  
 10月23日(日)昼の部 夜の部  
 詳細は↓こちらから。→ → →  
<https://osakakenpomusical.amebaownd.com/>  
 ★料金★一般：3500円 大学生・高校生：3000円  
 中学生以下：2000円 障がい者：2000円  
 ※介助者1名まで無料(介助者の方もチケットを申し込み必要)  
 当日券は+500円です。



★憲法のレシピ★  
 終戦直後の大阪。焼け野原となった街で、大人も子供も逞しく生きている。闇市の雑炊屋、美古都は姑の佐和子とともに出征した夫の帰りを待ち続けていた。その頃、東京のGHQ本部ではマッカーサー元帥が民政局に「新しい日本の憲法の草案」をまとめるように指示を出す。その大きな柱は「戦争放棄」。それは首相である幣原喜重郎がマッカーサーに進言したものであった。美古都は闇市に現れた傷痍軍人の中に夫の姿を見つけるが、人違いであるといわれる。そればかりではなく夫が戦死したことを知らされる。虐げられ体を売らざるを生きる術のない女性たち。飢えて街をさまよう戦災孤児。生き残った人々の心に戦争の傷跡が深く残っている。新しい憲法は、人々の願いを叶えることができるのだろうか。  
 +++++ クラウドファンディング成功!!! ご支援ありがとうございました!!!当初目標金額を大きく超えるご支援をいただき、誠にありがとうございました。+++++

## 【参加者募集】 放談後クラブ「チャレンジ・キッズ」

子どものことで、迷ったときに相談したり、悩みを打ち明けられる場があればいいなあ……。そんな思いで集まっています。支援者を交えて、気楽におしゃべり情報交換しませんか。  
 午後からは、身体ほぐしのレッスンをを行います。  
 ◆日時：10月14日(金)  
 ◆場所：ラポールひらかた3階和室  
 10:30~12:30 情報交換会(遅刻早退OK、出入り自由)  
 13:00~14:00 身体ほぐしのフェルデンレックス(要予約)  
 タオルと水分各自持参。動きやすい服装で行います。  
 ◆参加費：無料  
 ◆問合せ：c-k@love-dugong.net または、090-5893-5635(16時以降 豊高)  
 下記ブログにて、随時情報を掲載しています。  
<https://ameblo.jp/challengekids81573/>  
 (「チャレンジ・キッズ」「アメブロ」で検索してください)



応援ありがとうございます♪

# LIP 応援団

匿名希望さん

## LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
44,837	前号から繰り越し
3,670	寄付
▼790	郵送代
▼500	ロッカー代
▼3990	8月号印刷代
43,227	計(次号へ繰り越し)

# STOP WAR

## 「他者と働く」 オンライン読書会

■日時：2022年10月30日(日)19:30~21:00  
 ■会場：ZOOMを使用  
 ■主催・連絡先：NPO法人スノック snoknp@gmail.com  
 ■参加費：無料  
 スノックでは定期的に読書会を開催しています。「テーマ本」を事前に読んで、その本について意見交換していく形式です。お気軽にご参加ください！  
 詳細はQRコードからご覧ください。  
 今回のテーマ本は『他者と働く——「わかりあえなさ」から始める組織論』(著者：宇田川 元一)



## みんなと一しょに高校へ行きたい!

### 知的障害者を普通高校へ北河内連絡会定例会ご案内

◆日時：2022年10月2日(日)午後1:30~5:00  
 ◆場所：ラポールひらかた 4階ミーティングルーム1&2  
 枚方市新町2-1-35(電話：072-845-1602)  
 駐車場なし(手帳のある人のみ)  
 枚方市駅下車 北へ500m  
 ◆内容：1) 2学期が始まって子どもたちの様子や課題  
 2) 今年度高校受験する生徒にとって情勢と課題  
 3) 「文科省通知」と枚方市教委の(お知らせ)について：「2年猶予」されたけど……  
 4) 「医療的ケア」の要る子どもたちと学校生活  
 5) その他何でも話し合います！  
 ◆参加費：会場費として一家族100円  
 会場とZOOMと。会場参加の方は要りません。  
 ZOOM参加の方は、29日(木)までに松森まで予約をお願いします → [matumori@crufox.com.ne.jp](mailto:matumori@crufox.com.ne.jp)  
 ◆主催：知的障害者を普通高校へ北河内連絡会  
 ◆連絡：松森俊尚 090-1960-3469  
 関山域子 090-2599-6162



# 枚方コーレん

デビューしちゃう?

【ひらつーパートナー・ライト】

月額 5,610円

詳しくはコチラ →



イラスト 表紙：平井由恵